

なとセン登録団体活動紹介

名取シニア劇団あっぺとっぺ

演劇を始めるきっかけは震災復興支援

澤畑健一代表は、学生時代に一度演劇活動にチャレンジしましたが本格的に活動するにはお金がかかるので、残念ながら断念した経験を持っています。そんな澤畑さんが、再び演劇活動をするようになったのは、2014年、河北新報に「東日本大震災で被災され仮設住宅に住んでいる方に、演劇で元気づけましょう！」というNPO法人シニア劇団ネットワーク主催の演劇ワークショップ参加募集記事を見て、応募したのがキッカケです。

同じ記事を見て応募した4人は、それぞれに引っ込み思案な性格や、発音・音読することに苦手意識を持ちながらも、その壁を乗り越えたいと意を決しワークショップの延長から演劇の練習を始めました。



先生と真剣に台詞合わせ



お坊さん役に熱が入る澤畑代表

シニア世代の生きがいづくり

名取シニア劇団あっぺとっぺは演劇活動を通じ文化的価値を見出し、全国の劇団や地域の人々と交流を図り、地域の文化発展の一因となるべき活動をする一方で、シニア世代の残された人生を、それぞれの個性を最大限に表現することの喜びを創造することを目的として活動しています。

これからの人生を楽しみたい方、毎月2回（主に月曜日）市民活動支援センターで演劇の先生をお招きして、柔軟運動と発声練習、台本読み、即興で芝居を作るなど、みんなで和気あいあいと活動しています。ぜひ、活動に参加・体験して下さい。見学は自由です。演劇を通じて仲間同士の触れ合いとシニア世代の生きがいと一緒に見つけましょう。そして、いつかまた全国シニア演劇大会に出て、より多くの仲間と交流を深めたい！と澤畑代表はニコニコしながら語っていました。

NPO法人との出会いで設立

NPO法人シニア演劇ネットワークとは、高齢者の趣味活動にとどまらず、社会に向けて明るい希望の橋を架けられるような演劇活動を目指しています。この法人が主催する全国シニア演劇祭の開催を知り、2015年に4人で大胆個性派の名取シニア劇団あっぺとっぺを結成しました。

「あっぺとっぺ」とは、宮城弁で「ちぐはぐ」という意味で、自由な発想と動きにこだわり好きな気持ちを自由に表現するという意味です。そして、同年に仙台で開催された全国シニア演劇祭に参加したのです。

イオンで活動発表演劇会開催

団員一人ひとりの名取に対する想いが、コメントタッチで面白おかしく表現されています。歌あり！踊りあり！笑いあり！すっごくありありの演目「わが町名取」をぜひ見に来てね！無料です！

日時 平成29年9月29日（金）

13:00~13:30

場所 イオンモール名取2Fつばさのひろば

問合せ 名取シニア劇団あっぺとっぺ
090-4555-8285（代表 澤畑）